

いの町 菊池学園だより (平成29年6月)

昨年は主に小学校を中心に、取組を進めてきましたが、今年は保育園、幼稚園、中学校にも取組を広げていきます。更に、保護者や地域の方々にもこの取組を理解していただくことにも力を入れています。それぞれの分野で取組を紹介します。

保育士・幼稚園教員研修会

町内の保育園、幼稚園の先生方対象の研修でした。講師は菊池先生と、昨年12月に開催した「教師のたまごセミナー」でもお話していただいた徳島こどものとも社 松本崇史さんのお二人でした。松本さんには、乳幼児期の成長、発達に大きな影響を与える「絵本との関わり」について講演いただきました。

菊池先生は「保育園、幼稚園におけるほめ言葉のシャワー」として講演しました。また、実際にほめ言葉のシャワーをされている、あいの保育園 竹中知佐先生と、松本さんと菊池先生のお話を聞きたいと徳島県から参加された、幼稚園教諭の森道子先生と廣瀬光先生のクラスのほめ言葉のシャワーの動画も紹介していただきました。最後は園ごとで振り返りを行い、今日の学びを深めました。

楽しく学べた松本崇史さんのお話



会場は先生方の熱気であふれていました!



あいの保育園 竹中先生



徳島県 森先生



徳島県 廣瀬先生

今日の学びを明日へどうつなげ、実践していくかを園ごとに話し合いました。



感想より(抜粋)

○間をもたせるために絵本を読んでいませんが、というお話に少しどきっとしました。メディアがあふれている現代社会であらためて、本を読むという事の大切さを感じました。保育士という職業がら、よい絵本を選ぶ目を今以上に高めていき、絵本を見る時間を大切にしていきたいです。

○菊池先生のお話、何度か聞かせていただいています。ほめ言葉のシャワーの継続で、必ず変化してくる子どもたちの姿に、いつも胸を熱くしています。低年齢の時こそ(から)ほめ言葉のシャワーが必要なのではないかと思えます。小学校就学までにしっかり身につけておきたい基本的な生活習慣や人の話を聞くことなど、家庭と園が協力し合い、ほめ言葉のシャワーを絶えずふりそそぎながら、保護者、子どもの意識を高めていくことができれば…と考えます。

いの町 菊池学園だより (平成29年6月)

長沢小での「学び合い授業」と菊池寺子屋 本川地区版（教職員、保護者、住民対象）

6月16日には、「百マス計算」等の基礎学力の反復練習などの取組で、全国的に知られている陰山英男先生（石川正康校長先生の学生時代のご友人でもあります）と一緒に、長沢小学校を訪問しました。

また、夜は教職員、保護者、地域の方々を対象とした「菊池寺子屋 本川地区版」を開催し、小学生も含め30名以上の方が集まってくださり、楽しい学びの時間を過ごしました。



伊野南中での講演

菊池省三先生の講演より「自分で人生をつくる。こどもに育つために」

子どもたちに必要な力として「即興力」に焦点を当て、その意味や重要性を、ご自身がテレビに出演した時のエピソードや、ビートたけしさんの詩「友達」、友だちに送りたい漢字ベスト5などを交え、具体的に分かりやすく伝えて頂きました。

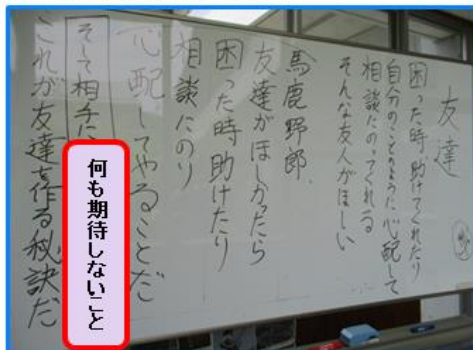
さて皆さんは菊池先生の話から、どんなことを考えたでしょうか。たとえば、一握りの人しか活躍できないテレビの世界。そこで活躍している人の共通点は。また、「友達」という詩に出てきた「何も期待しないこと」とは。そして、漢字ベスト5（笑・感・謝・楽・友）について菊池先生が「どんなイメージがするか。そのイメージをもって生活してほしい。」とのメッセージの意味は。など、今一度皆さん自身が講演の内容を振り返ってみたいと思います。



出会いの最初は
明るく元気に

場に合った
切りかえ

また、保護者の皆様はどのような感想をお持ちでしょうか。「即興力」は一朝一夕で身につくものではありません。日々の地道な実践の積み重ねがあってこそです。学校での取組、家庭で過ごし方等、家庭との連携をさらに強めていかなければと思いますので、今後よろしく願います。



生徒会長よりお礼の挨拶(抜粋)

未来に繋がる第一歩を決める時期に、「即興力」の大切さを学ぶことができました。菊池先生のように、人の良いところをすぐ褒められる「即興力」を身につけたいと思います。

手の良いところに注目して接する「長所接近」ができるようになりたいですね。

6月18日には、伊野南中学校の参観日にお伺いし、道徳の授業参観後、生徒と保護者、教職員を対象に講演しました。左は、伊野南中学校の学校だより「南風」(6月21日発行)の一部です。

正木敬造校長先生も書かれています。菊池先生の話の中で出た「即興力」は簡単に身につくものではありません。菊池先生も「コミュニケーションは、経験しないと身につかない、伸びない力」と言われます。

周りとは良好な関係を築くためには、プラスの言葉を使っていくことが大切です。義務教育を終了すると社会との関わりが増えます。大変なことも多くなりますが、相